

1

特集 看護研究のイロハを学ぼう！

看護研究とは

真嶋朋子 (千葉大学大学院 看護学研究科 教授, 副学部長)



point

- エビデンスに基づいた看護実践を促進するためには5つのステップがある！
- 看護のエキスパートの実践知を探求するためには、実践者の実践の本質を浮き彫りにする研究方法が必要！
- 質の高い研究論文を読み、大学の看護研究者と協働して現場の問題を解決する研究の取り組みが大切！

はじめに

本章では看護研究についての基本的な内容を説明します。最近ではエビデンスに基づいた看護実践の大切さが注目されてきていますので、看護研究とエビデンスとの関係について、循環器看護に関

連する研究を例に挙げて説明します。また、看護研究を大学の教員と行う際の実施体制や、循環器看護の発展を促進すると考えられる看護研究のテーマについて紹介します。

看護研究とは

看護研究について考えるにあたって

看護師は、患者さんやご家族の苦しみ、回復過程、健康の維持、増進に最も身近に深くかわり、その人の人生に大きな影響を与えるため、根柢を持って看護を行うことが大切です。

看護に関する研究を初めて世に表したのは誰でしょう？

多くの看護研究の書物でナイチンゲールが紹介されています。ナイチンゲールは『看護覚え書』のなかで、看護であるものと、ないものを表しました。また、統計学者としても優れた成果を生み出しています(図1)。



図1 統計学者としてのナイチンゲール

ていただきたいと思います。

それでは、少し基本に戻って、そもそも研究とは、看護研究とはについて考えてみましょう。

看護研究とは

研究とは、広辞苑¹⁾には「よく調べて真理をきわめること」と記載されています。D.F.ボーリット²⁾は、研究を「リサーチ (research)」と表現し、「問いに答えたり、あるいは問題を解決するために、学問的な方法を用いる系統的な探求である」と述べています。研究をすることによって、それまで疑問であったことの答えが見つかり、問題となっていたことが解決されることにつながるため、研究成果は、患者さん、ご家族、病院、社会に大きな利益を与えます。

スーザン K. グローブラ³⁾らは、看護研究とは「エビデンスに基づく看護に直接的に間接的に影響を与えるこれまでの知識を検討したり、その知識を精錬したり、新しい知識を生み出す科学的プロセス」と定義しています。

看護研究を始めるきっかけは

皆さんはどのようなことから看護研究を始めるのでしょうか？

臨床の看護師の方々が看護研究に取り組まれるきっかけとして、働いている施設の看護職員への継続教育の一部として、病棟の管理者から臨床経験3年目以下の看護師に、看護研究を勧めることがあると聞きます。

必ず病棟で1つの研究をしなければならず、勉強会や研究発表会などが、年間スケジュールに入っているということも聞きます。テーマとしては看護用具の工夫や改善、アロマセラピーなどリラクゼーションによる血圧変化などが人気です。

しかしながら、毎年看護研究を行うということが病棟の行事のように定められていると、新しい研究テーマが見つからず、臨床経験3年目以下の看護師に義務感が生じ、負担感のみが強くなってしまうことにもなりかねません。せっかく取り組む看護研究ですから、少しでも有意義なものにし